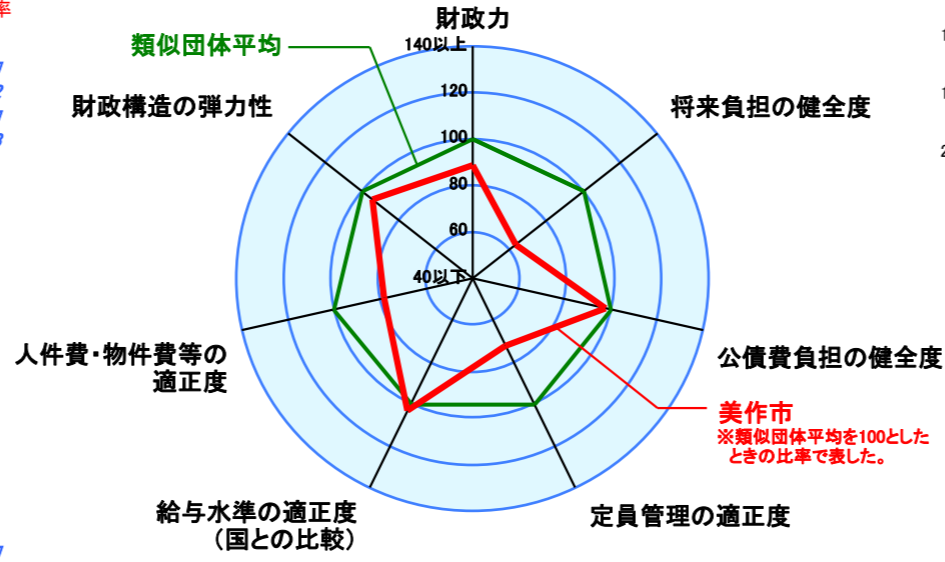
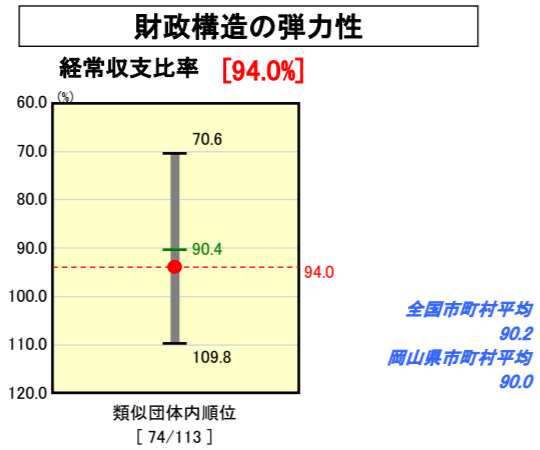
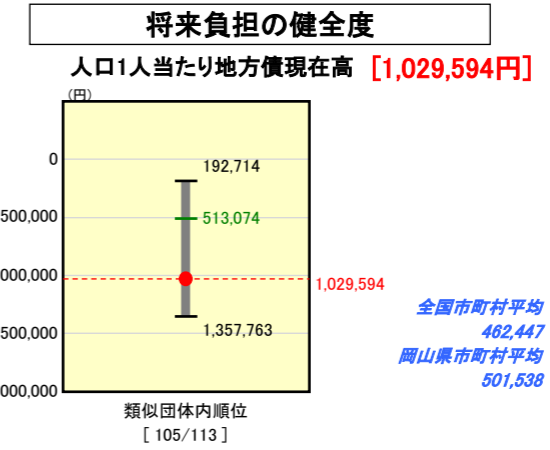
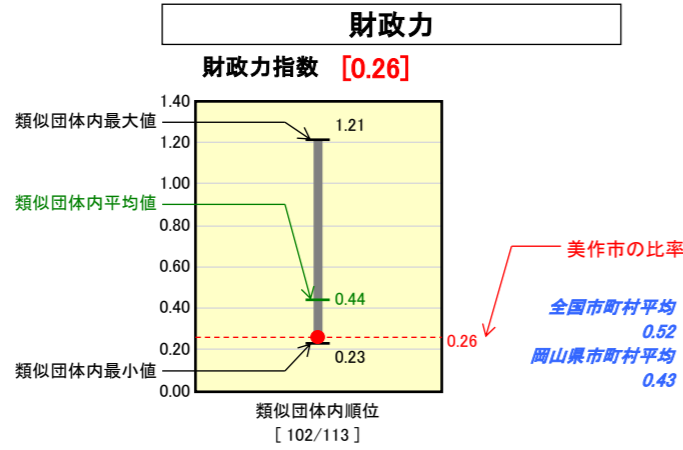


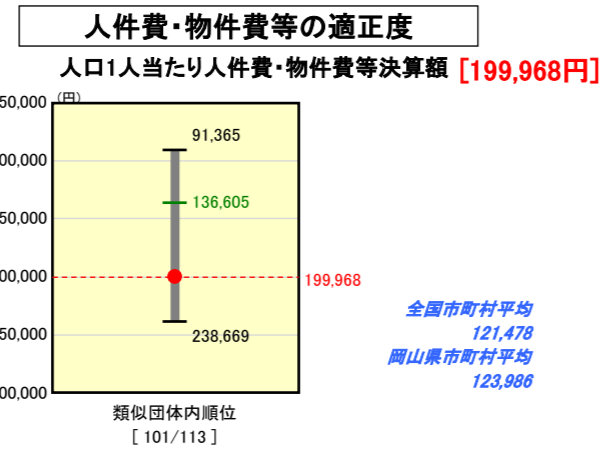
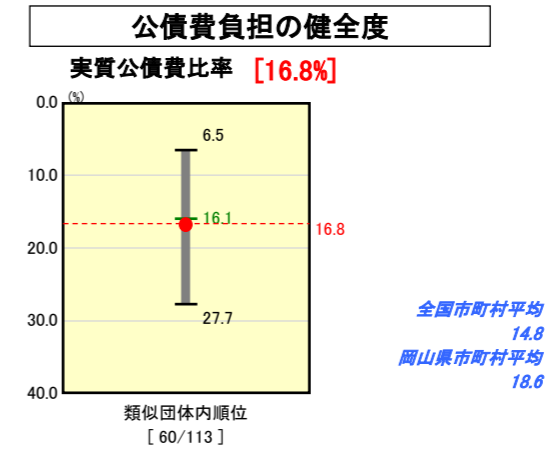
# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 岡山県 美作市

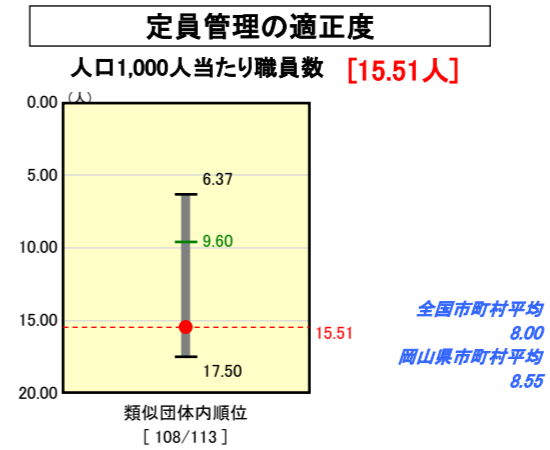
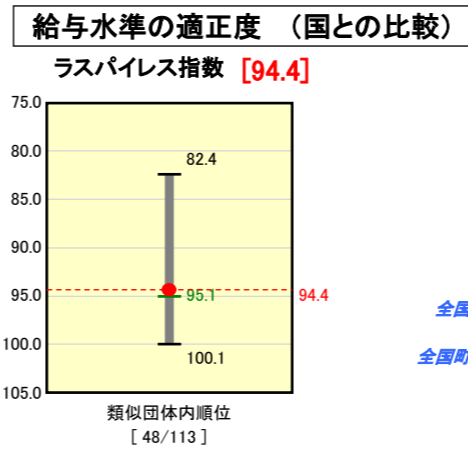
人口	33,583	人(H18.3.31現在)
面積	429.19	km <sup>2</sup>
歳入総額	25,560,299	千円
歳出総額	23,748,264	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 分析欄

**財政力指数**：人口の減少や高い水準にある高齢率に加え、中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。産業振興、企業誘致、地方税の徴収強化等の取り組みを通じて歳入確保を図り、財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**：類似団体平均を上回っており、財政の弾力性を失っている。集中改革プランに沿った行政改革を進め、人件費をはじめとした義務的経費及び経常経費の削減に努める。平成21年度までに経常収支比率を90%以下に低下させることを目標とする。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**：類似団体平均を大きく上回っている。主に人件費を要因としており、職員の定員適正化計画によって人件費とそれに伴う物件費のコスト低減を図っていく。

**ラスパイレズ指数**：類似団体平均をやや下回っているが、今後も各種手当の見直しを行い、より一層給与の

**実質公債費比率**：類似団体に比べ下水道等のインフラ整備が進んでおり、それに比例して地方債現在高も高い。そのため、実質公債費比率の数値については、今後も高い水準で推移するものと思われるが、地方債の繰上償還を実施するとともに新規発行債の抑制(毎年の起債発行額を年間償還元金の80%以内に抑える)を行い実質公債費比率の適正管理を図る。

**人口1人当たり地方債現在高**：類似団体平均を大きく上回っている。過去に実施したインフラ整備事業などに対する起債残高に加え、近年の人口減少の影響で1人当たりの現在高が高くなっている。地方債の繰上償還の実施と新規発行債の抑制によって、地方債現在高の低減を図る。

**人口1,000人当たり職員数**：集中改革プランに基づき、10年間150人を削減目標とする定員適正化計画を策定し、着実に実施する。